

## 野辺山高原シクロクロスレース運営事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- シクロクロスレースとは、オフロードで行われる自転車競技で、1周2～3kmのコースを決められた時間に何周出来るかを競い合う競技である。
- この大会を誘致することにより、観光振興に寄与するとともに、国内外のトップ選手やレースを身近で見学することで、シクロクロスに興味を持ってもらい、スポーツ振興を推進する。
- 平成22年度に第1回大会が開催されたが、平成23年度からは国際レースとして開催するとともに、村内にオフロードコースを新たに作った。



【シクロクロスレース】

### 事業内容

- 「第2回野辺山高原シクロクロスレース」の開催  
11月26日、27日に村内の滝沢牧場を会場として実施した。  
この大会から国際レースとなり、国内外から543名の選手が参加した。
- 常設のオフロードコースの設置  
村内の八ヶ岳ふれあい公園内に自転車オフロードコース（1周2.1kmと1.3kmの2コース）を作り、看板等を整備した。



【常設オフロードコース】

### 事業効果

- 「第2回野辺山高原シクロクロスレース」を国際レースとして開催することにより、多くの人が国内外の一流選手のレースを生で見ることが出来た。また、観光面の効果として、大会関係の宿泊者約200人に結びつくとともに、大会をインターネットを通じて国内外に発信することにより、野辺山高原の観光地としてのネームバリューがアップした。
- 常設コースは比較的平坦で子供でも楽しめるコースになっている。そのため、子供が外で遊ぶ習慣を作り健康を増進することが出来るとともに、将来的には、地元から選手を生み出すことが期待できる。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 平成24年度以降も国際大会として開催する。（平成24年11月17日、18日に大会を実施。）
- 今後は、シクロクロス人口の増加、特に女性の競技人口を増やすように努力する。
- 野辺山高原は、シクロクロスに限らず、ロード、マウンテンバイクと自転車に乗るのに良い環境なので、将来的には野辺山高原を自転車の聖地と言われるように、レースやツアーを継続していく。

#### 【選定のポイント】

大会として定着が図られた結果、参加者・宿泊者とも予定を上回り、また野辺山高原の観光地としてのPR効果も果たした。

団体名	野辺山高原シクロクロスレース実行委員会（南牧村）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	委員長 新海 文人	事業費	4,182,339円
メールアドレス	m-shoko@minamimaki.or.jp	支援金額	2,623,000円